

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H29事業内容		H29活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1		地域特性を活かした観光振興事業	H24 ～ H33						
1	①	文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地の取得(約10,000㎡)と物件補償 ・斜面緑地ゾーン落石防護対策整備 ・駐車場(西側・東側)施設等の実施設計 ・ガイダンス施設の規模や内容等の確定 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地全体の約80%確保 ・斜面緑地ゾーン対策工事完了 ・駐車場(西側・東側)実施設計完了 ・ガイダンス施設の基本設計完了 	<p>供用開始後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 年間来場者数 延べ2万人</p> <p>(今後のスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 用地取得・補償、グスクゾーン実施設計、駐車場整備等 ・平成31～33年度 ガイダンス施設整備、グスク復元整備 	12月変更(計画変更に伴う今後の展開方針等変更)	
	②	とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	豊かな自然環境、恵まれた地勢のみならず、歴史文化に育まれた子どもエイサーや棒術や旗頭等の伝統芸能、豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつながるまち」とみぐすく」を実現していくことを目的とする。	とみぐすく祭りの開催	とみぐすく祭りの開催 とみぐすく祭りの来場者数:91,500人 県外観光客数:10%	来場者数及び県外観光客の増		
	③	観光振興等支援事業	H25 ～ H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業を支援することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討するとともに、観光PR活動を行う。	豊見城市観光協会等の補助対象団体からの補助対象事業を公募し、選定委員会にて将来、豊見城市の観光振興に資する事業で自立が見込まれる内容を適切かつ公平に2～3団体選定、補助金交付。	・観光地点等入込客数 約230万人(H23年度)→約464万人(H29年度)	・同事業の周知を広く行い、更なる観光客の誘客促進、地域活性化を図る。 H29入域観光客数:464万人		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ細								
④	観光力向上事業	H28～ H30	豊見城市の各種計画を踏まえ、将来への展望、背景等を考慮した提案を幅広く受け、豊見城市の観光に資するための人材育成を行い、今後の観光客の受け入れ態勢の充実を図る。	観光に資する人材を育成するための事業実施	受講者(又は関係者)にアンケートを実施し【満足・やや満足・普通・やや不満足・不満足】の5つに分類し、不満足度が40%以下を目標値とする。	効果的なカリキュラムの実践及び市内観光関連事業所への定着を促す		
⑤	観光情報発信事業	H29～ H31	観光地としての魅力の向上に努めるため、県外で実施される観光イベント等においてプロモーション活動を行う。	県外で実施される観光イベント等に参加する。	・市内主要観光地の入込客数 約483万人	(今後の展開方針) 引き続き県外でのプロモーション活動を実施し、観光誘客を図る。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)	
⑥	観光振興地域環境美化強化事業	H25～ H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植栽木の管理(1387樹、3回除草清掃) ②プランターの植栽管理(464個)	植樹木の除草清掃、プランターの植栽管理を行い、魅力ある観光地づくりに寄与する。	植栽木の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。 防風ネットの効果検証については平成28年度台風の影響数が少なく(11月末時点一回)検証を平成29年度に行う。		
⑦	豊見城市景観重点地区調査検討事業	H28～ H29	市景観計画に基づき、本市の自然や歴史・文化資源などの地域資源をまもり、育て、豊見城らしい景観まちづくりを推進し、地域資源を活用した新たな観光資源の創出や地域の活性化を図るため、景観重点地区(モデル地区)の指定に向けた、調査・検討を行う。	地域資源、住民意向を把握し、重点地区指定に向けて、住民の合意形成を図り、景観重点地区(モデル地区)指定に向けた、計画素案の作成を行う。	景観重点地区指定に向けた課題の整理及び報告書を取りまとめる。	(今後の展開方針) H30年度:景観重点地区計画策定及び重点地区の指定		
⑧	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28～ H32	観光客及び市民の利便性の確保を図るため、市内の新たな公共交通システムの導入に向け、市内一周バス再編のための計画策定を行う。	・市内一周バス再編に向けた検討 ・基幹公共交通システムの検討	・市内一周バス再編に伴う社会実証実験計画の作成	H30年度:市内一周バス再編社会実証実験 H31年度:本格運用 H32年度:本格運用		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	⑨	与根漁港複合施設整備事業	H27 ～ H30	複合施設を整備し、遊漁船の利用促進を図ることで、漁業者の所得向上を図る。	実施設計の実施	実施設計の完了	H30建築物工事 ○遊漁乗客数 基準年(H25)2500人 H31 3000人	
2		地域特性を活かした産業活性化事業	H24 ～ H33					
	①	とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業のPRを行い産業の振興を図る。 また、異業種間での情報交換や交流の場とすることで、産業間の連携を生み出し新たな産業の創出を図る。	とみぐすく産業フェスタ開催に係る経費を負担する。	とみぐすく産業フェスタ来場者数:37,000人 (対前年目標比 +1,000人)	負担金及び出展料の見直しを図る。	
	②	県外販路拡大支援事業	H26～ H31	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図るため県外において開催される展示会・見本市等への出展に対する支援を行う。	県外で開催される、展示会・見本市等へ出展する事業所に経費の助成を行う。	県外の展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築する。	市内事業所の出展等ニーズに沿った展開を行う。	
	③	豊見城産トマト・葉野菜販売促進事業	H27 ～ H29	豊見城産トマト・葉野菜は施設整備が進み生産量も増加傾向にあるため、今後県内への出荷が集中することによる価格の下落が懸念されている。豊見城産トマトは、県の拠点産地に認定されており又、葉野菜は県内有数の産地となっていることもあり、豊見城産ブランドをPRし、県内外において新たな販路拡大のための販売促進活動を実施する。	豊見城産トマト・葉野菜販売促進活動6回	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量457t（3年目）	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H25:369t(基準) H27:391t(1年目 実績) H28:442t(2年目) H29:457t(3年目)	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
	④	優良母牛導入支援事業	H27～ H29	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 (牝)112%、(去勢)108%以上	優良母牛導入頭数 H27:15頭(1年目導入率33%) H28:15頭(2年目導入率66%) H29:15頭(3年目導入率99%)	
	⑤	乳用牛改良支援事業	H29～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける。	優良乳用牛の貸付頭数4頭/年	今年度導入頭数 H29年度:4頭	優良乳用牛導入頭数 H29:4頭(1年目導入率33%) H30:4頭(2年目導入率66%) H31:4頭(3年目導入率100%)	
3		次世代育成支援事業	H24 ～ H33					
	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ H33	臨床心理士による幼稚園及び保育園への巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士への支援を行う。	臨床心理士配置数:2人	対象となる幼児の保護者・保育士へのアンケートで、臨床心理士への相談により負担感・不安感が軽減されたと感じた割合 80%以上	(今後の展開方針) 引き続き臨床心理士による巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士の負担感・不安感の軽減を図る。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
	②	心理相談事業	H26 ～ H33	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	・臨床心理士の配置 ・乳幼児健診等事業 23回	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、臨床心理士への相談により育児不安が軽減されたと感じた割合 80%以上	(今後の展開方針) 健診及び相談支援部門と保育部門の連携の確立	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
	③	預かり保育事業	H24 ～ H33	幼稚園終了後、希望する在園児を対象とした午後の預かり保育を実施する。	預かり保育担当職員配置:25名	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じた割合 80%以上	(今後の展開方針) 預かり保育担当職員を継続配置し、保護者の負担軽減等を図る。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
	④	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H28～H33	市内幼稚園に特別支援員を配置し、特別な支援を要する子に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の配置:幼稚園21人	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に配置を行い、適切な支援を行う。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
4		生きる力を育む人材育成事業	H24～H33					
	①	特別支援教育支援員配置事業	H28～H33	市内小中学校に特別支援員を配置し、特別な支援を要する子に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の配置:43人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談・指導助言・面談等の実施。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に配置を行い、適切な支援を行う。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)
	②	学力向上サポート事業	H24～H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.3ポイント ※H26～H28の県平均との差+2.1ポイント ②中学校:+2.2ポイント ※H26～H28の県平均との差+2.0ポイント	平成33年度まで事業を維持し、全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。	
	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27～H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率 32% (改善ケース/支援対象ケース件数)	平成33年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
④	不登校等対策支援事業	H24 ～ H33	不登校の児童生徒に対し支援員を配置し、生徒指導や教育相談等学校復帰に繋げる支援を行う。	学習支援補助員配置数:中学校3人、適応指導教室2人 登校支援員配置数:小学校4人(小学校2校につき1人) 自立支援教室指導員:中学校3人	不登校児童生徒復帰率 20%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に各種支援員の配置を行い、学校復帰に繋げる支援を行う。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)	
⑤	英語教育推進事業	H25 ～ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小中学校へ外国人英語講師を巡回配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	外国語英語教師(ALT)の配置数:4名 日本人英語指導講師(JTE)派遣校数 小学校:8校	児童生徒の英語学習への興味・関心度 70%	継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、県学力到達度テスト県平均±0を目指す。		
⑥	情報教育補助員派遣事業	H24 ～ H33	パソコンを使用する授業へICT教育補助員を派遣し、ICTを活用した授業をサポートする。	情報教育補助員配置数:3人	ICT機器を活用できたと感じる児童生徒の割合:65%以上	(今後の展開方針) 平成33年度まで継続的に情報教育補助員の配置を行い、ICTを活用した授業をサポートする。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)	
⑦	電子黒板整備事業	H25 ～ H29	わかりやすい授業を実施し学校教育の質の確保を図るため、電子黒板を整備する。	電子黒板の整備10台 (普通教室)4台 (特別支援教室)6台	・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:75%以上	整備した電子黒板を活用した授業等の実施		
⑧	パソコン教室整備事業	H25 ～ H29	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上のため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	小学校1校のパソコン教室のパソコン整備(サーバー機1台、先生機1台、生徒機42台)	ICT機器を活用できたと感じる児童生徒の割合:65%以上	(スケジュール) 平成29年度:豊崎小学校 平成33年度までにICT活用率80%を目指す。		
⑨	児童生徒派遣費補助事業	H25 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	県外派遣の児童生徒数:380名	(今後の展開方針) 33年度まで児童生徒の派遣費の助成を行う		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	⑩	青少年国際交流事業	H25 ～ H33	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生14名をハワイ州に派遣報告会の開催(1回)	国際的人材を育成するため国際交流や地域貢献活動に自ら積極的に取り組む意識を向上させる。 (参考:H28応募者数/派遣人数 44名応募/14名派遣)	・派遣予定数 H29年度～H33年度:各年度14名 合計70名		
5		文化のまちづくり推進事業	H24 ～ H28						
	①	龍(饒波)修復事業	H27 ～ H31	豊見城市の葬制文化を伝える資料である「龍」を修復し、企画展等で活用することで、地域独自の民俗・祭祀・葬制等といった地域文化の伝承を図る。	修復計画の検討 基本設計図の作成	修復に係る基本設計図の完成	(今後の展開方針) H30 修復作業 H31 企画展開催等の活用		
	②	空手習得事業	H27 ～ H33	沖縄の伝統文化である空手を習得し、演武できる児童生徒を輩出するため、市立小学校において、クラブ活動の時間に「空手」指導、中学校において、体育の授業を活用し、「空手」の指導を行う。	空手指導者の派遣 小学校8校、中学校3校	空手の演武をできるようになったと感じる児童生徒の割合 75%以上	(今後の展開方針) 平成33年まで継続的に講師を派遣し、空手の指導を行う。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容、成果目標、今後の展開方針等変更)	
	③	フィルム資料収集事業	H28 ～ H31	豊見城市の近代を記録した歴史資料・郷土資料の充実に資するため、豊見城に関するフィルム資料を収集し、撮影位置を調査・記録さらに原本の保存および複写を行う。 収集した写真を基にトークイベントを開催し、市民への公開と更なる収集の呼びかけを行う。合わせて各機関が所蔵する豊見城市に関わるフィルム資料の収集を行う。	地域資料収集 トークイベントの開催 4回 他機関写真フィルム資料収集	収集写真枚数 500枚	(今後の展開方針) H30～H31 地域資料収集 H30 他機関事前調査 (主に映像資料) H31 他機関資料収集 (主に映像資料)		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	④	組踊継承事業	H24 ～ H31	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。 地域に縁のある組踊の増補や上演を通して、技術の継承を図り、本市の文化振興の活性化に繋げる。	組踊「雪払」台本増補検討委員会(仮称)の設置および開催	組踊「雪払」台本増補 100部	(今後の展開方針) H30 組踊「雪払」上演 H31 上演台本制作	
	⑤	戦争体験等映像化事業	H29 ～ H30	沖縄戦終結から72年が経過し、体験者が自ら語り記憶を継承することが困難になってきている。そこで、沖縄戦を含めた「アジア・太平洋戦争」の体験者取材し、個々の証言等を基に映像資料を編集制作し、平和を伝える学習材を整備する。	戦争体験者等基礎調査 証言撮影20名分	映像化素材の収録 20名分	(今後の展開方針) H30 撮影、編集、DVD・小冊子作成	
6		公営墓地整備事業	H27 ～ H31					
	①	公営墓地整備事業	H27～ H33	個人墓地の散在化を防ぐことで、景観保全を図るため、公営墓地を整備する。	公営墓地基本設計の実施	公営墓地基本設計の完了	H30年度:実施設計 H31年度:用地、物件補償 H32年度:用地、物件補償、工事 H33年度:工事	
7		豊見城総合公園体躯施設機能強化事業	H28 ～ H31					

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標(指標)	備考	
事業番号	H29事業内容			H29活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
	①	豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H30	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件を整理し計画的な整備を行い、市民のスポーツ振興及び競技力向上と観光客等の増加により地域活性化を図る	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の実施	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の完了	(今後の展開方針) 合宿誘致: 5回(H32) 利用者数等: 30,000人(H32)	
8		持続可能な安全・安心なまちづくり事業						
8	①	低炭素社会構築事業(都市公園省エネ設備導入促進事業)		公園内の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス排出の抑制を図る。	豊見城市内都市公園の豊崎海浜公園及び豊見城総合公園に設置されている照明灯146基をLED照明へ取り替え工事を行う。	豊崎海浜公園及び豊見城総合公園内照明灯のLED照明への取り換え完了	平成30年度の目標を以下のとおりとする。 豊崎海浜公園及び豊見城総合公園のCO2を年間約24,100kg削減	12月変更(事業追加)

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。